学校番号	T3024

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新家庭基礎２１（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心を持ち、特に自立の基礎となる食生活・衣生活、また共に生き共に支え合える社会を築くための基礎的な知識や技術の習得をめざします。

2　学習の到達目標

家庭生活に関心を持たせ、食生活・衣生活・保育・高齢化社会等に関する基礎的知識と技術を習得させ、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家庭生活（食生活・衣生活・保育・高齢化問題等）に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	家庭生活（食生活・衣生活・保育・高齢化問題等）について、向上・問題解決のため工夫・創造力を身につけている。	家庭生活（食生活・衣生活・保育・高齢化問題等）についての基礎的な技術を身につけている。	家庭生活（食生活・衣生活・保育・高齢化問題等）についての基礎的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 調理実習計画 実習記録表 被服実習計画 レポート等	学習状況の観察 プリントの記述 調理実習計画 実習記録表 被服実習計画 レポート 定期考査等	学習状況の観察 プリントの記述 調理実習・被服実習の成果・制作品等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート・発表 実習結果 定期考査等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	楽しく安全に食べる	1　からだと心の健康をつくる食生活とは 2　どれだけの栄養が必要か 3　栄養素の働きとは 4　食品を扱う際に注意する点とは 5　食事作りのポイントとは	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:食事と健康・安全等に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b:　食事と健康・安全等の課題を見いだし、解決をめざしている。 c:健康で安全な食生活のための技術を、実習を通して身につけている。 d:　:健康で安全な食生活を営むための知識を身につけている。	授業観察 レポート プリント 実習態度 定期考査
	子どもと生きる	1　子どもから何を感じるか 2　子どもの発達とは 3　子どもの生活で気をつけたいことは 4　親になるとはどういうことか	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b:　子どもの発達と保育についての色々な課題の解決をめざしている。 c:子どもへの適切な対応の技術を身につけている。 d:　子どもの発達と保育についての基本的な知識を身につけている。	授業観察 レポート プリント 実習態度 定期考査
後期	支えあい、共に生きる	1　支えあいの仕組みはどうなっているのか 2　高齢者と、それを支えるしくみはどうなっているのか 3　高齢社会の現状と課題	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	a:人々の生活・高齢者の生活に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活・状況の課題の解決をめざしている。 c:高齢者との適切な関わりの技術を身につけている。 d:高齢者の生活等の基本的な知識を身につけている。	授業観察 レポート プリント 定期考査

後期	衣生活	1　生活を豊かにするための衣生活 2　実生活の中に作る楽しさを 3　クロスステッチのストラップ作り	○	○	○ ○	○	a:生活を豊かにする衣生活に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b:生活の中の衣生活を見直し、積極的に取り組んでいる。 c:実習の基本的な技術を身につけている。 d:実習における衣生活の基本的な知識を身につけている。	授業観察 実習態度 制作物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。